

スタディサプリ

2019年1月8日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

-これからの社会・入試に向けた学習に役立つ新しいアセスメント-

『スタディサプリ 学びの活用力診断』が

文部科学省の「高校生のための学びの基礎診断」の認定を取得

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社:東京都品川区、代表取締役社長：山口 文洋）が提供するオンライン学習サービス『スタディサプリ』のラインナップで、高校向けアセスメント『スタディサプリ 学びの活用力診断』が、文部科学省の「高校生のための学びの基礎診断」に認定され、2019年度より提供開始しますのでお知らせします。

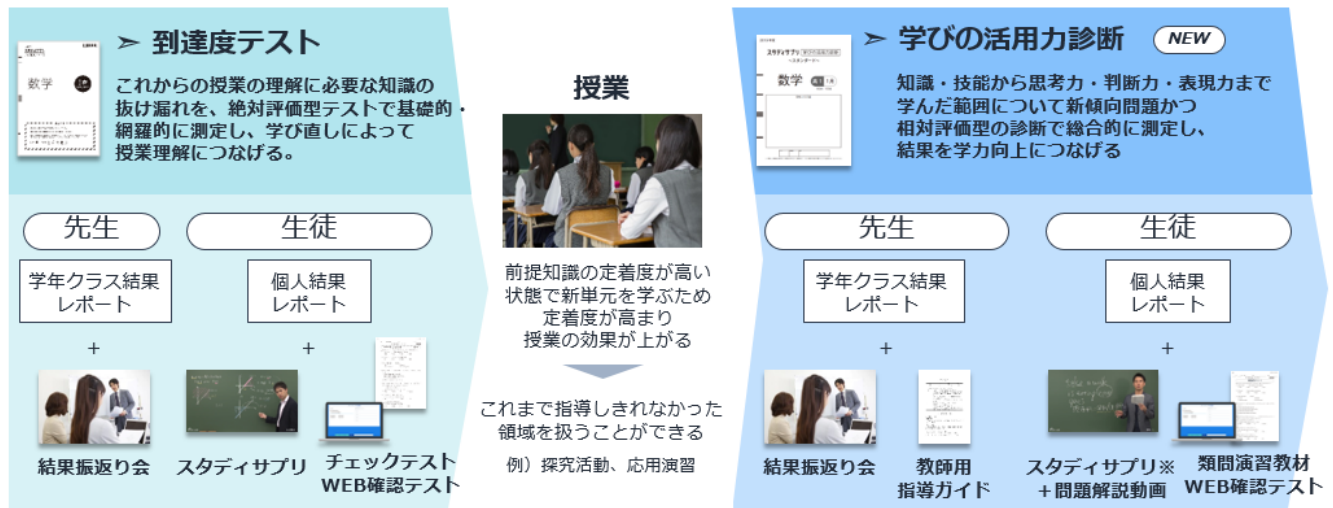
■学力把握だけではなく事後指導も含めた本質的な学力向上につながる“まなび”のご提供へ

“世界の果てまで、最高のまなびを届けよう”をコンセプトに、所得、地域による教育環境格差の解消を目指し2011年にスタートしたオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、学校教育のサポートツールとして、現在、国内の高校2,353校に導入頂いております。

来たる2020年度に向け計画されている大学入試改革（現高校1年生からが該当）では、センター試験が大学入学共通テストに代わり、記述式問題などの新傾向の問題の導入が検討されているほか、個別入試でも思考力・判断力・表現力がより問われるようになります。子どもたちが進む社会においても、未知の状況にも対応できる力が一層求められるようになります。

そのような変化の中で、先生・生徒は、思考力・判断力・表現力などこれから求められる力を測定し、伸長する必要があります。その力を測る新しいアセスメントと事後教材をパッケージ化し、2019年度からのご提供に向け開発しているのが『スタディサプリ 学びの活用力診断』です。

そしてこの度、高校生の基礎学力の定着度合いを測定するため、文部科学省が一定の要件を提示し民間の試験等を認定する「高校生のための学びの基礎診断」に、この『スタディサプリ 学びの活用力診断』が認定されました。2019年度から高校1・2年生向けに、文部科学省認定教材として本格的に利用頂くことが可能となります。



※学びの活用力診断に出題された単元の動画のみ視聴することができます

▲スタディサプリが支援する学力向上 PDCA

『スタディサプリ』では、授業の前に生徒の学力を『到達度テスト』で把握し、授業理解の前提知識の学び直しによって授業理解度の向上を支援しています。また、授業理解度が上がることで、より重要となる「主体的・対話的で深い学び」への移行も促進します。さらに『学びの活用力診断』で、基礎学力から思考力・判断力・表現力までを総合的に測定し、事後教材で補強することで、学力向上につながるPDCAサイクルの実現を促進します。

【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

リクルートマーケティングパートナーズはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます

■『スタディサプリ 学びの活用力診断』の商品概要

テスト種別	スタンダード	ベーシック
主な対象者	大学進学を主に考えている生徒に向けたツール。基礎から応用・発展までバランスよく段階的に出題し、総合的に現在の学力を測定。	共通必修科目の定着が重視される生徒に向けたツール。発展的な出題の割合を減らしながら、出題を段階的にし、正確に現状を把握。
実施スケジュール	高 1、高 2 とともに 7 月、11 月、1 月頃の年 3 回	高 1・高 2 とともに 1 月頃年 1 回
診断科目	・高 1 向け 7 月、11 月、1 月、高校 2 年生向け 7 月：英数国の 3 科目 ・高 2 向け 11 月、1 月：英数国理社の 5 科目	・高 1・高 2 年向け 1 月：英数国の 3 科目
解答方式	解答方式：選択式、短答式、記述式	
出題内容	・思考力等の資質・能力を計る問題を出題します。 ・大学入学共通テスト試行調査を参考に、新傾向形式の問題を十分に出題します。 ・英語については、「読む」「書く」「聞く」の 3 技能を測定いたします。「話す」について学校採点で行なう問題等の素材をご提供する予定です。 ・義務教育範囲の学習内容の定着度を把握する問題を出題します（一部実施回）	
診断後返却物	教員向け結果レポート、生徒向け結果レポート、結果の振り返り会、問題解説動画、スタディサプリでの学び直し推奨講座の提示、教師用指導ガイド、類問演習プリント、相対評価指標 等	
診断後の活用イメージ	・教師は結果レポートを参考に、学年やクラス全体の強みや弱みを観点別に把握でき、今後の指導計画の立案に役立てることができます。 ・教師は面談などを通じて、生徒一人ひとりに適切な学習アドバイスを行うことができます。 ・教師は教師用指導ガイドも活用しながら、弱点補強の授業を行うことができます。 ・生徒は問題解説動画を利用して、解けなかった問題の解法を学ぶことができます。 ・生徒はレコメンドされたスタディサプリ講義を利用して、基礎知識の抜け漏れを復習することができます。	

以上